

授業科目(ナンバリング)		保健体育科教育法 I (QB122)		担当教員 担当形態		神野 周太郎 単独			
教員免許状取得のための選択の別	保健体育(中・高)：必修	単位数	2単位	開講年次	1年	展開方法	講義	開設時期	後期
科目	教職及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)								
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)								
授業のねらい									アクティブ・ラーニングの類型
学校教育における保健体育科の位置づけを理解した上で、学習指導要領における体育分野の学習内容、学習指導に関する基本事項を理解し、教育現場における学習指導計画の作成や学習指導および学習評価の基礎的知識を身に付ける。									⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	保健体育教科教員として教育に対する使命感や情熱を持ち、常に学び、成長しようとする姿勢が身に付いている。					・受講者の授業態度、授業への参加度		10%	
情報収集・分析力									
コミュニケーション力	板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付け、実践することができる。					・受講者の発表		10%	
協働・課題解決力	保健体育科教員として必要な専門知識を理解し、それらがなぜ重要なのかを説明できる。					・授業内テスト ・定期試験		50% 30%	
多様性理解力									
出席						受験要件			
合計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度および参加度(評価比率10%)、発表等授業への積極的な取り組み(評価比率10%)、授業内テスト(評価比率50%)、定期試験(評価比率30%)により、総合的に評価する。 ・また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。 									
授業の概要									
<p><体育分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法、学校教育法、学習指導要領をもとに、中学校、高等学校保健体育科の教授内容、教授方法、評価方法と体育分野の書く領域の学習内容を理解し、授業実践への基礎的知識を学ぶ。 ・この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。 									
教科書・参考書									
教科書：『保健体育科教育』杉山 重利・高橋 健夫・園山 和夫 著 大修館書店 2009 教科書：『最新 スポーツルール』大修館書店編集部 大修館書店 2018 教科書：『教員採用試験対策 ステップアップ問題集 中学高校 保健体育』東京アカデミー編 *当該年出版を使用 指定図書：『中学校学習指導要領』及び『中学校学習指導要領解説 保健体育』文部科学省 *当該年出版を使用 『高等学校学習指導要領』及び『高等学校学習指導要領解説 保健体育』文部科学省 *当該年出版を使用									
授業外における学修及び学生に期待すること									
<ul style="list-style-type: none"> ・授業資料、学習指導要領、学習指導要領解説をもとに、授業実践への想像力を働かせて聴講すること。学習指導要領、学習指導要領解説についてはよく理解しておくこと。 ・授業外の時間に教材研究を行い、授業前日までに指導案を提出すること。日ごろから保健体育科の専門知識、教育全般に関する時事問題に興味を持ち、知識を蓄積すること。 ・学校教員就職を強く希望する学生に参加して欲しい。よって、中途半端な気持ちで授業に出席しないこと。 ・無断欠席、遅刻などは原則認めない。教員志望学生としての自覚を持ち、集中して聴講すること。 									

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	保健体育科の位置づけ	本授業のオリエンテーション・教育課程の中の保健体育科の位置づけ	予習：シラバスを読む。 復習：授業内容の復習。
2	学習指導要領	学習指導要領の総則と学校体育の意義	予習：学習指導要領【総則】を読む。 復習：総則と保健体育科の関連について整理する。
3	体育分野の目標	学校体育は何を目標にして展開されるか	予習：学習指導要領【目標】を読む。 復習：学校教育の目標の中で保健体育科の果たすべき役割について整理する。
4	体育分野の学習内容	目標を達成するには学習者に何を教え、身に付けさせるか	予習：学習指導要領【教科の目標及び内容】を読む。 復習：保健体育科の学習内容を書き出しそれぞれに説明を加える。
5	体育授業の基本的な特徴	保健体育科教師への道。他教科授業と比較した体育授業の特徴	予習：学習指導要領【教科の目標及び内容】を読む。 復習：自身の経験から保健体育科の特徴を説明する。
6	体育分野の学習指導過程	体育授業における教師の指導性と情報機器及び教材を用いた授業展開方法	予習：学習指導要領【教科の目標及び内容】を読む。 復習：自身の経験から保健体育科教員の指導性を説明する。
7	体育分野の学習指導計画	学習指導計画立案の方法と表示方法	予習：学習指導要領【内容の取り扱い】を読む。 復習：学習指導計画を作成する。
8	体育分野の授業 1	体づくり運動（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【体づくり運動】を読む。 復習：体づくり運動の授業案を作成する。
9	体育分野の授業 2	器械運動（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【器械運動】を読む。 復習：器械運動の授業案を作成する。
10	体育分野の授業 3	陸上競技（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【陸上競技】を読む。 復習：陸上競技の授業案を作成する。
11	体育分野の授業 4	水泳（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【水泳】を読む。 復習：水泳の授業案を作成する。
12	体育分野の授業 5	球技（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【球技】を読む。 復習：球技の授業案を作成する。
13	体育分野の授業 6	ダンス（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【ダンス】を読む。 復習：ダンスの授業案を作成する。
14	体育分野の授業 7	武道（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【武道】を読む。 復習：武道の授業案を作成する。
15	体育分野の授業 8	体育理論（特性とねらい、学習内容、指導のポイント、評価の仕方）	予習：学習指導要領【体育理論】を読む。 復習：体育理論の授業案を作成する。
16	定期試験	筆記試験	試験勉強及び対策

